

令和4年6月20日
文教・福祉常任委員会資料
健康長寿部長寿生きがい課

令和3年度宇治市槇島地域福祉センターの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和3年度 事業報告書

令和4年4月25日

施設名	宇治市榎島地域福祉センター
団体名	社会福祉法人 山城福祉会
代表者名	理事長 宮本 隆司

(1) 業務実施状況報告(令和3年度)

【管理運営の方針と結果】
運営方針 <ul style="list-style-type: none">・宇治市内に居住する高齢者・障害者への福祉増進に寄与するとともに、地域福祉の拠点として福祉サービスの提供や各種情報の提供を行うことにより高齢者・障害者・地域住民だけでなく、法人施設利用者も含めた交流及び地域における福祉意識の高揚を図る。<ul style="list-style-type: none">・地元地域を形成するあらゆる人々との交流など社会参加の機会を創出する。・人権の尊重及び利用者の意見を反映しサービス向上に繋げる。・安全かつ効率的な運営を行い、管理運営費の削減に努める。
結果 <ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大の影響は継続しており、緊急事態宣言に伴う休館も長期化したため、会館の利用にあたっては、定員や夜間の利用見合わせなどの制限がある中、運営した。入浴利用についても、利用停止期間が長期化したため、減少したが、管理者の指示のもと、密を回避するご協力が得られ、安全にご利用いただけた。・令和3年度は延べ3,477名の利用にとどまった。(前年度 4,290名 利用)
【施設の平等利用の考え方と実施した対策】 <ul style="list-style-type: none">・センターの運営細則に基づき公平な対応をとる。・利用申し込みが重なった場合は、双方に事情を説明し納得いただける方法で調整した。・利用者の方には施設のルールを遵守していただき、全ての利用者が快適に利用できるように努めた。
【施設管理状況】 1. 利用拡大の取組結果
【令和3年度の取組結果】 <p>感染拡大防止を最優先し、秋のわくわくまつりは規模を縮小して、関係者のみにお知らせして実施した。</p> <p>また利用登録団体と当法人運営施設との交流計画については実施を見送った。</p> <p>直接的な交流が行えない分、高齢者・障害者の作品展示スペースは前年度より規模を拡大し、来館者への、啓発活動の充実を図った。</p>

<p>【令和2年度の取組結果】 感染拡大防止を優先し、秋のわくわくまつりは中止、また利用登録団体と当法人運営施設との交流計画も実施を見送った。 直接的な交流が行えない分、高齢者・障害者の作品展示スペースを設け啓発活動を行った。</p>
<p>【施設管理状況】2. 広報実施結果 各種取り組みに関わる案内を掲示した。</p>
<p>【施設管理状況】3. 職員配置状況 センター長 1名（山城福祉会法人事務局長兼任） 管理人 1名（専従）</p>
<p>【施設管理状況】4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果 ・管理運営委員会のメンバーは規約に基づき、地域関係団体より選出。 ・予定されていた地域団体の会議、各団体同士の交流会などは協議の上実施を見合わせる事となった。榎島地域関係団体、榎島・宇治川両園の関係性の維持に努めた。</p>
<p>【施設管理状況】5. トラブル対応、防犯、防災対策状況 ・トラブル・防犯に関しては、利用者に対するこまめな声かけや、利用に関する注意事項の掲示など、未然に防げるように心掛けた。また、トラブル発生時には、速やかに長寿生きがい課に報告するとともに、指示を仰ぐようにしている。 ・防災に関しては、宇治川福祉の園の消防計画に基づいて行った。 ・エントランス及び駐車場に防犯カメラを設置しトラブルの抑止に努めた。</p>
<p>【施設管理状況】6. 利用者要望の把握状況及び実施策 ・利用者の要望把握は管理人が行い要望をまとめ、容易に対応できるものについては速やかに対応した。また、対応が困難な場合は管理運営委員会及び宇治市に改善要望書を提出するようにしている。</p>
<p>【サービス向上取組内容】</p>
<p>【令和3年度の取組結果】 ・オゾン発生機による室内の空気洗浄とオゾン水での浴室清掃を行い感染症等の予防に努めた。 ・二酸化炭素濃度測定器を活用して、室内の換気が十分に行えているかチェックした。</p>
<p>【令和2年度の取組結果】 ・オゾン発生機による室内の空気洗浄とオゾン水での浴室清掃を行い感染症等の予防に努めた。</p>

【管理経費縮減の具体策と結果】**【令和3年度の取組結果】**

- ・光熱水費については、電気に関しては電力監視システムで瞬間使用電力の上限目標値を設定し利用者にも協力をお願いした。水道、ガスについても利用者への積極的な啓発活動を行い、節約を徹底しているが、会館日数等の影響により、前年度と比較して増加している。(令和元年度からは減少)
- ・昨年に引き続き管理人補助を単独で置かず、併設施設の職員が兼務して対応し人件費の削減を行った。

令和元年度から令和3年度の経費（光熱水費）実績

(単位：千円、%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
電気	554	539	620	115.0
ガス	579	392	449	114.5
水道	412	268	308	114.9
合計	1,545	1,199	1,377	114.8

【令和2年度の取組結果】

- ・光熱水費について、電気に関しては電力監視システムで瞬間使用電力の上限目標値を設定し利用者にも協力をお願いした。水道、ガスについても利用者への積極的な啓発活動を行い昨年度よりも節約することが出来た。
- ・昨年に引き続き管理人補助を単独で置かず、併設施設の職員が兼務して対応し人件費の削減を行った。

【管理能力】職員研修計画と実施状況

- ・法人の内部研修を予定していたが中止となった。
- ・外部研修の参加を予定していたが日程調整が出来ず不参加となった。

【個人情報保護措置と実施状況】

- ・宇治市の条例、施行規則に基づき適正に実施。山城福祉会としての取り扱いに関する規程（指定管理者個人情報保護規程）に基づき対応するように徹底した。
- ・本年度は、開示の申出はなし。

【情報公開対応と実施状況】

- ・宇治市の規定している情報公開及び個人情報の保護に基づく対応を行うとともに、指定管理者情報公開規程に基づき適切な対応をするように徹底した。
- ・本年度は、情報公開の申請はなし。

【その他】特記すべき事項

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休館
 - ①令和3年4月25日から6月20日まで（入浴の休止は7月11日まで）
 - ②令和3年8月20日から9月30日まで
- ・入浴サービスは、上記の期間を除いて、間隔の確保や更衣室内の換気（サーキュレータ使用）、男女交代時の消毒の実施などの対策を徹底して実施
- ・新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策として、遮蔽板や手指用アルコールを設置するとともに、利用後の備品のアルコール消毒を徹底
- ・感染者が出た場合は、同じ時間帯に利用された方と連絡が取れるよう、利用者の把握を徹底

(2) 施設利用状況報告(令和3年度)

【施設利用状況】 1. 入館者数

令和2年度から令和3年度の入館者数

(単位：人、%)

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
ダイルーム利用者数	965	771	79.9
浴室利用者数	902	793	87.9
料理教室	68	6	8.8
地域交流室	2,355	1,907	81.0
合計	4,290	3,477	81.0

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和2年度から令和3年度の貸館状況

(単位：人、%)

区分	件数 人数	令和2年度	令和3年度	前年度比
料理教室	件数	17	2	11.8
	人数	68	6	8.8
地域交流室	件数	164	148	90.2
	人数	2,355	1,907	81.0
合計	件数	181	150	82.9
	人数	2,423	1,913	79.0

(3) 管理経費収支状況報告(令和3年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市槇島地域福祉センター			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの 指定管理料	6,084	6,613	指定管理料	6,613
	その他	0	0		
収入合計(A)		6,084	6,613		
支出	人件費	3,008	3,017		
	事務費	84	185	消耗品 通信運搬等	151 34
	管理費	2,992	3,411	光熱水費 委託料 修繕料	1,377 1,163 871
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		6,084	6,613		
収支(A) - (B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4) - 1 事業実施状況報告(令和3年度)

※事業=公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
		

